

## 梯 明秀教授 略歴・主要著作目録

### 略 歴

明治三五年七月一六日 徳島県板野郡撫養町（＝現在鳴門市）齋田にて生まれる。

明治四二年四月 撫養尋常小学校入学。

大正四年三月 右同校卒業。

大正四年四月 徳島県立撫養中学校に入学。

大正四年九月 徳島県立徳島中学校に転学。

大正九年三月 右同校卒業。

大正一〇年四月 第一高等学校入学。

大正一三年三月 右同校卒業。

大正一三年四月 京都帝国大学文学部哲学科に入学、米田庄太郎教授のもとに社会学を専攻、傍ら西田幾多郎、田辺元両教授の哲学の講座に出席して指導を受く。

昭和三年三月 右同大学同学部を卒業。

昭和三年四月 大阪相愛女子専門学校教授に任ぜられ、社会事業科にて社会学、倫理学、心理学、哲学の授業を担当。

昭和四年四月 大阪日本大学専門学校教授に任ぜられ、社会学、論理学を担当する。

昭和七年三月 大阪相愛女子専門学校を退職。

昭和一三年九月 大阪日本大学専門学校を退職。

昭和一五年一月 北支那開發株式会社調査局東京支局の社員となり、資料作成、翻訳に従事する。

昭和一七年四月 右同社北京本社に転勤、調査局参事として、北支那一帯の工人および土法炭礦の実態調査に従事する。

昭和二〇年六月 現地にて召集令状、北支派遣軍砲兵隊に編入され、九月以降は河南省にて俘虜生活。

昭和二一年四月 内地帰還、開發会社解散とともに解職。

昭和二一年八月 大阪タイムス新聞社文化部長就任、同年一月退職。

昭和二一年十二月 立命館大学文学部専任講師となり、翌二二年三月辞任。

昭和二二年三月 第六高等学校に専任講師として赴任、哲学概論を担当する。同年八月、文部教官に任ぜられ教授となる。

昭和二四年四月 京都大学経済学部非常勤講師に任ぜられ、同三一年三月まで継続、経済哲学を担当。

昭和二四年 四月 岡山大学法文学部哲学科の専任講師を兼職、哲学概論を担当。

昭和二五年 三月 第六高等学校閉鎖とともに右同大学同学部助教に任ぜらる。

昭和二五年 七月 立命館大学経済学部教授に任ぜられ、経済哲学、社会科学を担当。

昭和二六年 二月 岡山大学法文学部の併任を辞す。

昭和三〇年 四月 同志社大学経済学部の非常勤講師となり現在にいたる。経済哲学担当。

昭和三四年 四月 経済理論学会幹事となり現在にいたる。

昭和三四年 一月 立命館大学経済学部より経済学博士の学位を授与さる。(学位論文、『資本論の学

的体系性—マルクス主義経済哲学の基礎づけのために—)

昭和三四年 一月 日本学術会議第五期第三部会員にえらばれ、翌年一月就任。

昭和三七年 四月 立命館大学経済学部長に就任、現在にいたる。